

リーディングDXスクール事業【実践事例】

北九州市立皿倉小学校(福岡県)【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながるクラウドの活用

子ども主体の学び（“教え込む” から “学びとる” へ）

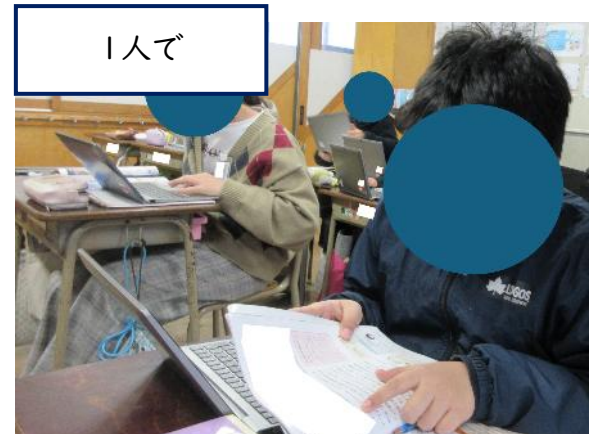
友達と



先生+友達と



1人で



クラウドを活用することで、友達の考えを**何度でも参照可能**。意見交流を通して、学びの質を高めることができた。

学び方の ヒント

おし 教えてほしい その 教科が 得意な人・先生	？ だれと 学ぶ？ なぜ その人のところへ？ 理由を 考えよう！	おし 教えてみたい あたらしい 新しい発見がしたい その 教科が 苦手な人
かくにん 確認したい 自分と 考えが 似ている人	あらしん 安心して 学びたい 仲の よい人	かんが 考えを 深めたい ひろ 広げたい 自分と 考えが ちがう人

学び方のヒント

他地域のリーディングDXスクール指定校の実践をもとに、「学び方のヒント」を掲示して、子どもに学び方の選択肢を与えた。

自分の考えや収集した情報をクラウド上で表現することで、リアルタイムに共有され、あらゆる他者との対話を通して、自分の学びをよりよくする子どもたちの姿が見られた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

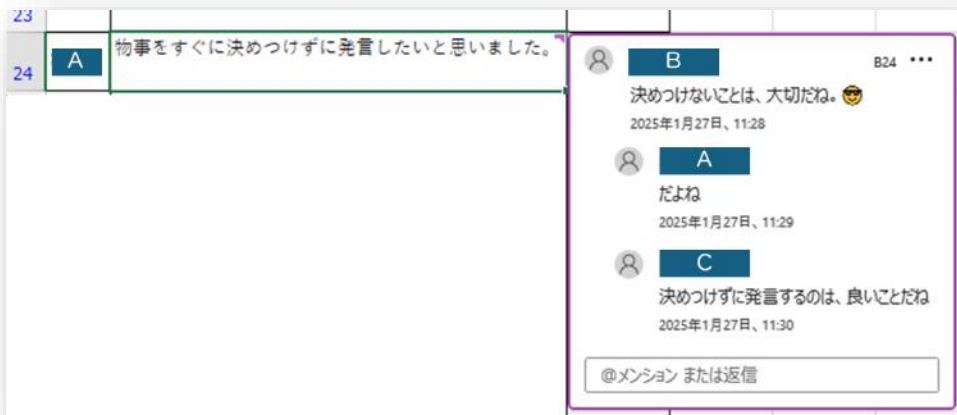
北九州市立血倉小学校(福岡県)【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながるクラウドの活用

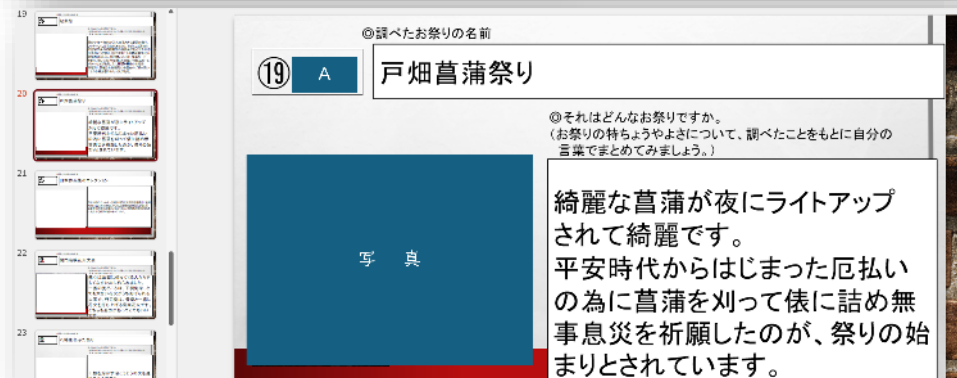
クラウドの活用による学習状況の把握

各々の端末内で編集するのではなく、Teams上で共有することにより、子どもがお互いの学習状況を把握することができ、対面と画面上で、協働的な活動が自然に起こるようになった。

クラウドを活用することにより、できることの幅が広がり、「誰一人取り残さない学び」の実現へとつながっている。



コメント機能を使って
子ども同士で考えの価値付け



学習状況が一覧で表示され、
業務改善にもつながる